

住宅地の外構に注目する

■日時：2019年11月24日（日）14：00～17：00

■会場：西神住宅団地狩場台 かりばプラザ集会所

■目標：かりば地区の外構の現状を知り，これからの住宅地像を踏まえた，すてきな外構のデザインをみんなで共有します。

■プログラム

○開会 14:00～14:05

趣旨と進行について

上山 卓（いきいき下町推進協議会）

●まち歩きの前にちょっと押さえとこ／14:05～14:20（15分）

1) 第1回考える会ワークショップのふり返り（5分）

2) まち歩きのポイント解説：住宅地の敷際（しきぎわ）に注目して（10分）

●まち歩き：すてきな外構を探しましょう／14:20～15:20（60分）

地元3～4名外部2名程度のグループ×（3グループ）で3つのゾーンに分かれて地区内を歩き，よいと思われる外構（敷際空間）の写真をスマートフォンで撮ります。最大写真枚数は10枚まで。（画像データは，撮ったら直ちにコミュニティかりば事務局に送信。）

（休憩／15：20～15：30）：10分

◎コミュニティかりば事務局では，送られてきた総数最大30枚の写真をその都度A4用紙大にプリントアウトする

●かりば外構ベストテンを選ぶ／15:30～16:55（85分）

1) 各グループで写真の選定・コメント作成と発表準備／15：30～16：10（40分）

①写真を見比べ，6事例を選定し，それぞれにお勧めコメントを余白に書き込みます。

②全体発表準備：模造紙に選定した6事例の写真をレイアウトします。

2) 全体で発表と投票，討論／16：10～16：55（45分）

①各グループによる推薦アピール 5分×3グループ（15分）

②全員で投票 写真の余白に●をつけます（各投票者は持ち点5●）。（10分）

③ベストテンを発表し，意見交換します。（20分）

○閉会 16:55～17:00

今後の予定

1月25日（土）14：00～ 第3回かりば すまいづくりを考える会／かりばプラザ集会所

●まち歩きのポイント1（景観まちづくり実践講座成果）

1. 景観を構成する住宅地外構では、住人の年齢や趣味などにより重厚な塀・門構えの住戸（後期高齢）、道路から門扉、外壁が後退し植栽をほどこしている住戸（前期高齢）、一方、門も塀もない「オープン外構」の住戸（若い世代）など、さまざまであること。
2. 門塀などのない「オープン外構」はややもすると駐車場だけの無味乾燥な街並みになる場合もあるが、工夫によっては街路から見た景観は空間の広がりを感じられること。
3. 「オープン外構」は、駐車スペースや子どもの遊び場などに利用されていますが、自宅で訪問介護・訪問看護を受ける場合や救急車などで搬送を受ける場合の容易さ、防犯上宅地内を見通せることや防災上も消火や救出救助など向こう三軒両隣で対応しやすいこと、さらには程よい距離感を近隣のコミュニティづくりなどに役立つこと。
4. 景観像のキーワード：＜敷際に緑を＞＜生活の表出＞＜人の顔が見えるまち＞
＜駐車スペースに注目＞

●まち歩きのポイント2（かりばすまいづくりを考える会WS成果）

1. 前提

- ・向こう三軒両隣のふれあい、コミュニティ形成
- ・子育て世帯など 若い世代を呼び込む魅力
- ・高齢者の暮らしにやさしい

2. 提案

- ・景観の魅力：オープン外構のモデル・ルール
- ・見守りのためのコミュニティづくり：縁側コミュニティ，ガレージコミュニティ，玄関先コミュニティ
- ・周辺のセキュリティ：外構の安全性
- ・宅地ガレージ活用：談笑空間，芝生，地藏盆，ワインバー，餅つき
- ・家のグリーン：オープンガーデン，散歩の楽しみ

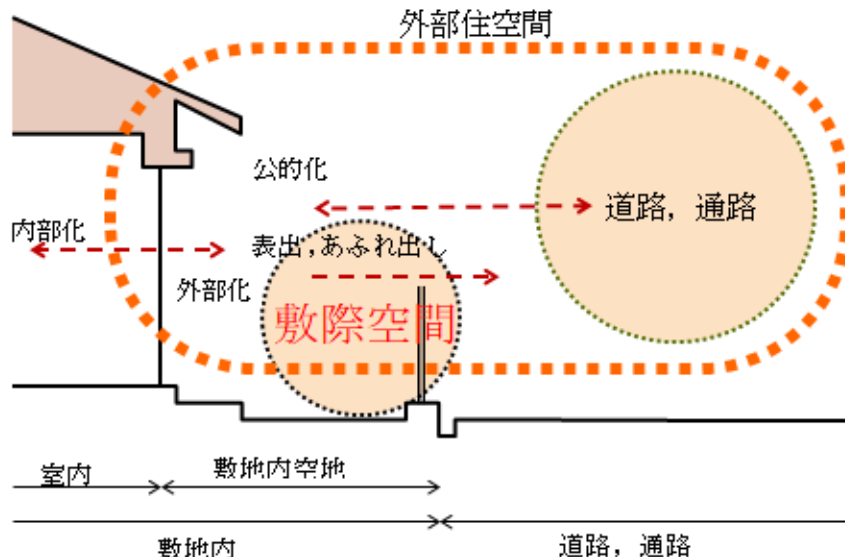


図 敷地空間の構成

《第2回かりばすまいづくりを考える会》ワークショップ



すてきな外構を探して



コメント作成と発表準備



ベストテンの発表と意見交換

